



ふたば
双葉

愉しく 仲良く 元気よく

志を持ち国際社会に羽ばたくシカゴっ子

2024年（令和6年）はどんな年に・・・

～ 子どもたちの姿は未来への夢と希望です ～

シカゴ双葉会日本語学校 全日校

(シカゴ日本人学校) 校長 長谷川 雄一

能登半島地震で被災された皆さまと関係者の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

みなさま、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。
間の抜けた時期にご挨拶となりましたが、学校だよりの発行が月末となっており、お許しください。

さて、年明けから日本は世界から注目される大きな自然災害や事故に見舞われました。
日本から報道される様々な映像は、心を締め付けられ、関係者の方々の心中を察すると言葉になりません。

本校は受験や一時帰国をする児童生徒も少なくなく、さらには親戚が住んでいたり、直接的ではなくとも関係する児童生徒がいますので、教職員に情報収集を依頼しました。その後、関係する児童生徒は全員無事、元気であることがわかり安心しました。やはり、日本各地から、そして世界各地から児童生徒が集まる在外教育施設では、すべてが他人事ではすまされないことを実感しています。1月9日の始業式、体育館で子どもたちの笑顔に再会できて本当によかったと思います。

こうした災害や事故が子どもたちにどのような影響を及ぼすのでしょうか。様々な研究者の報告がありますが、当然、トラウマになり心身に大きな影響があることは共通しています。

以前、夜間放火により全焼してしまった学校の先生からお話を聞いたことがあります。年月がかなり経過したあとで、「あの時の子どもたちは火事の影響かどうかは、はっきりしませんが、かわいそうなほど学力が落ちていました」との言葉を聞いて、事件や事故が子どもの心身に大きな影響を及ぼすことを改めて学びました。

もうひとつは、東日本大震災の時のお話です。

ある中学校3年生が、その日、日帰りで卒業記念と称して、東京都内での班別学習を実施しました。学校から JR の駅までバスで30分ほど、さらには東京まで電車で1時間半ほど、班別に課題を設定し、行政機関をまわる班もあれば、商業施設や文化施設を見学するなど、東京23区内にそれぞれが公共交通機関を使い都内に散りました。そこにあの巨大地震が発生しました。東京でも高層ビルが大きく揺れ動き、東京タワーの先端が地震の揺れで曲ってしまうような大きな揺れでした。たちまち首都圏の交通機関は止まり、携帯電話も使用できず、公衆電話も長蛇の列となりました。当時は一晩中公共交通機関が動かず、電車の線路を歩いて帰る人々の姿が新聞やテレビで世界中に報道された日です。

学校にはわが子を心配する保護者が大勢押しかけました。

保護者の心配は当然でした。あの巨大地震でわが子の行方がわからなくなったのですから。

学校側も手を尽くし、情報の収集と関係機関への協力の要請を行いました。先生方も自分の身を守り、家族の安否を気遣いながらも、まずは生徒たちを学校に無事に帰さなければならぬと手を尽くしていました。あの混乱の中で、修学旅行で世話をしていたいただいた旅行業者がすぐにバスを用意して東京近郊に待機させましたが、何分にも生徒たちと連絡が取れず、どこにいるのか、どのような周囲の状

況なのか、全くわかりませんでした。有名な九段会館の天井が崩落して死傷者がでたとの報道が早い段階で繰り返し流され、東京でも大きな被害が出ていることが保護者の不安をさらに大きくさせたと思います。ただ地震で揺れただけではなく、災害が発生している状況が刻一刻と明らかになっていきます。

地震の発生は2011年3月11日午後2時46分でした。学校は当然、一晩中灯りがともされ、教職員は子どもたちを待ち続けました。

最初に学校にたどり着き帰ってきた生徒は朝の5時過ぎでした。待機していた学校の教職員、保護者、心配してかけつけたご近所の方々から大きな歓声があがりました。生徒たちは次々に帰ってきました。中には旅行会社が急遽用立ててくれたバスに乗り帰れた生徒もいましたが、ほとんどの生徒たちはJRの線路を歩いて帰ってきたそうです。最後の生徒は翌日のお昼過ぎに帰ることができ全員の無事が確認されました。単純に東京駅から道路を計測すると約70キロ以上あります。生徒たちはそれぞれに励まし合い、知恵をしぼり、相談しながら帰路を探したそうです。あの混乱の中でも、助けてくれる方が大勢いたと言います。中には学校まで車に乗せてくれた人もいたそうです。食べ物を分けてくれた人もいたそうです。卒業式を4日後に控えていた生徒たち、当然その式も行えず、高等学校入学後にも影響しました。

かすかに聞こえてくるお話では、人生観が変わったと言う生徒、将来の職業を真剣に考え始めた生徒、人を救う職業に進路を変えた生徒、不登校だった生徒が高校に通いはじめたなど、ことこの生徒たちについては、この大災害に遭遇して人生を前向きに考えるようになり、自分の生命や人生を大切に考えるようになったと聞いています。田舎の中学校の、学力もそれほど高いとは言えないと言われる学校の生徒たちでしたが、私たち他校の教員や教育行政関係者にも、はたして学力とは何なのか、日頃、使われている「生きる力の育成」とは、など改めて考えさせられることが多かったです。

あの生徒たちは今、20代後半となり社会人としてそれぞれの道を歩んでいることでしょう。

そのことをふと思い出しながら、目の前にいる児童生徒、そして、それぞれの地で困難に直面している子どもたちを心から応援したいと思います。今年もよろしく願いいたします。

1月12日（金）休校措置をとりました。

地域のディストリクトからの指示により現地校が休校するとの情報を前日の11日の午後に届きました。報道等によりかなりの悪天候が予想されましたので、休校を決め、お伝えしました。

月曜日には通常どおり学校は行いましたが、地域のディストリクトがお休みになり、駐車場の雪かきがなされておらず、あちこちに凍結した箇所が見られました。今後はディストリクトの指示により現地校が休校した場合は、児童生徒の安全、保護者の方の安全面等、総合的に判断しながら本校も対応をあわせていく考えです。

また、それに伴い可能なかぎり Google-meet での学習を検討していきますが、コロナ禍とは異なり、自然災害による急な決定となりますので、それぞれの状況に応じた対応となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

TENSUKE さんのご協力をいただき、書き初めを掲示します。

書き初めの作品が校内に掲示されています。このあと、TENSUKE さんのご協力により、店内に展示させていただきます。毛筆の世界では、様々な個性的な作品もあり、地域の方々にも、子どもたちの作品を楽しんでいただきたいと思います。

1月30日から展示いたします。

中学部の進路説明会を行います。

従来の進路指導は、進学事務説明会としたほうがわかりやすいかもしれません。国内校に準じた形で行って来ました。今回この時期に中学部2年生と1年生の保護者を対象に、そしてご希望があれば小学部の保護者の方にもどうぞとオープンにしたのは、以下の理由からです。

何よりもお子さまの進路を考えるにあたり、早すぎるということはありません。

進路情報が国内校に比べて極めて少ない在外教育施設においては、保護者の方がたいへん不安をお持ちだということ、さらにアメリカの場合、現地校に進学することもできたり、あるいは逆のケースもあり、選択の幅がある分、迷う保護者のご相談が増えてきました。在外教育施設の場合、学校訪問等の機会も制約があるため、早い段階から進学する上での必要な情報をお伝えしておいたほうが、各家庭で判断や相談がしやすくなるのではと考えました。

日本では中学1年生から進路指導が始まり、高校の先生や卒業生をお招きして高校生活や進路の状況の説明を聞いたり、直接、見学や体験学習に行くなど、幅広く機会があります。そしてそれらは、進路決定時だけではなく、目的意識を育て、高校に進学してからも高い学習意欲がみられる生徒を育てます。本校はそこまではできませんが、少なくとも進路学習や進路事務を進めていく過程で、早めに全体像を知り、具体的に動くこと（夏休みに学校を訪問するなど）ができるように、今回の進路説明会を企画しました。

今回は6月～7月にかけて予定しています。中学部3年生の今後の動き方、卒業までの流れを具体的に説明予定です。

大縄跳び大会 盛り上がっています。

在外教育施設の子どもは体力がないと言われますが、本校の児童生徒を見ていると、年齢にふさわしい発達と運動能力は適度にあるのではないかと思います。今回、小学部の児童が熱心に取り組んでいる学年（学級）ごとの大縄跳び大会ですが、その練習風景を見ていると、感心します。小学1年生でここまで飛べるのか、19人もいるハンデを負う2年生がここまでがんばるのかですから、3年生、4年生、5年生、6年生と学年があがるごとに、海外に住むひ弱な子どもとのイメージは全くなりません。

それにしても、よくあれだけ飛べるものです。そして、担任の先生方、若手とはすでに言えない年齢ですが、本当に心も身体も若くないと教師は務まりませんね。頭がさがります。このシカゴの冬の時期、よい伝統が続いています。

（ここまでの文責は校長にあります。以下は教頭先生が作成しています。）

		2月歴			保護者用	
日	月	火	水	木	金	土
				1 5・6年スキー教室①	2 5・6年スキー教室②	3
4	5 全校朝会⑨	6 小学部委員会 ⑨	7 中学部定期テスト④ PTA執行部会⑧	8 中学部定期テスト④	9 中学部定期テスト④	10
11	12	13 6年懇談会 (2限) 5・6年授業 参観(3限) 5年懇談会 (4限) 会計監査 (11:55~)	14 1年授業参観(1限) 懇談会(2限) 4年授業参観(2限) 懇談会(3限) 飼育体育集会	15 2年授業参観(2限) 懇談会(3限)中1授 業参観(5限)懇談会 (6限) PTA常任委員会⑤	16 すみれ発表会 小3授業参観(1限) 懇談会(2限) 中3授業参観(3限) 中2授業参観(5限) 懇談会(6限)	17
18	19 President's Day	20 小2交流学习	21 縦割り⑧ 6年生を送る会(5 限)	22 3月誕生会 中学部交流学习	23 6年謝恩会 13:10~15:10	24
25	26	27 小学部委員会 ⑫	28 教育相談日⑧ シカゴ集会	29 中学部修学旅行説明会 13:30~		

※おむつ替えができるトイレ

今までは、第2会議室横の女性用トイレにありました「おむつ替え台」を、その東側にあるトイレに移動しました。男女共有トイレですので、お父さんもおむつ替えができるようになりました。



【子どもたちの作品】

一文字一文字、ていねいに書いています。

小学部一年

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん ありむら あおい

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん おおば まさゆき

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん キミ子 ふうか

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん くらしまみく

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん しましゅうたろう

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん すはらこう

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん 田中リキ

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん なんばはばと

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん はましとしあき

が	を	お
ぼ	た	正月に、
か	べ	おぞうに
か	ま	しました。
ぼ	か	しました。
か	し	ました。
し	ま	した。
ま	し	ました。
し	た	。

ねん 水口 きょう一

小学部二年

年	を	きれいな
か	見	はつ日の
は	ま	はつ日の
じ	し	新しい
ま	た	新しい
り	ま	新しい
ます	す	新しい
。	。	新しい
。	。	新しい

二年 青山 たかひろ

年	を	きれいな
か	見	はつ日の
は	ま	はつ日の
じ	し	新しい
ま	た	新しい
り	ま	新しい
ます	す	新しい
。	。	新しい
。	。	新しい

二年 いとう すばる

年	を	きれいな
か	見	はつ日の
は	ま	はつ日の
じ	し	新しい
ま	た	新しい
り	ま	新しい
ます	す	新しい
。	。	新しい
。	。	新しい

二年 大石 にな

年	を	きれいな
か	見	はつ日の
は	ま	はつ日の
じ	し	新しい
ま	た	新しい
り	ま	新しい
ます	す	新しい
。	。	新しい
。	。	新しい

二年 長田 か生

年	を	きれいな
か	見	はつ日の
は	ま	はつ日の
じ	し	新しい
ま	た	新しい
り	ま	新しい
ます	す	新しい
。	。	新しい
。	。	新しい

二年 さい丸 たくみ

年	を	きれいな
か	見	はつ日の
は	ま	はつ日の
じ	し	新しい
ま	た	新しい
り	ま	新しい
ます	す	新しい
。	。	新しい
。	。	新しい

二年 しま田 こう大

年	を	きれいな
か	見	はつ日の
は	ま	はつ日の
じ	し	新しい
ま	た	新しい
り	ま	新しい
ます	す	新しい
。	。	新しい
。	。	新しい

二年 田村 みり

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 ふじ本 なお

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 ふかみなお

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 西わき しおり

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 小室 ちえ子

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 小林 ひな

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 小林 しゅうや

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 木村 わたる

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 ほり あずみ

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 木山 あおい

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 山田 はるか

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 村い えり子

きれいな日はつ日の出
を見ました。新しい一
年がはじまります。
二年 つばい ひさき

小学部三年

友だち
三年 矢野 朱湊

友だち
三年 田中 環 莉

友だち
三年 大庭 直之

友だち
三年 佐藤 蒼馬

友だち
三年 松村 沙奈

友だち
三年 和田 帆 乃晴

友だち
三年 岡部 哲大

友だち
三年 本田 八馬人

友だち
三年 石田 瑛都

友だち
三年 塩崎 颯大

小学部四年

明
る
い
心

四年
佐藤
祐理

明
る
い
心

四年
羽入
陸

明
る
い
心

四年
佐藤
花香

明
る
い
心

四年
高山
好葉

明
る
い
心

四年
小宮
楓

明
る
い
心

四年
川村
玲瑠

明
る
い
心

四年
山下
凌平

明
る
い
心

四年
西田
篤斗

明
る
い
心

四年
小島
陸

小学部五年

新
しい
風

五年
リチャーズ
ジヤック

新
しい
風

五年
細川
敦史

新
しい
風

五年
広部
太一

新
しい
風

五年
須原
優太

新
しい
風

五年
桑村
夏希

新
しい
風

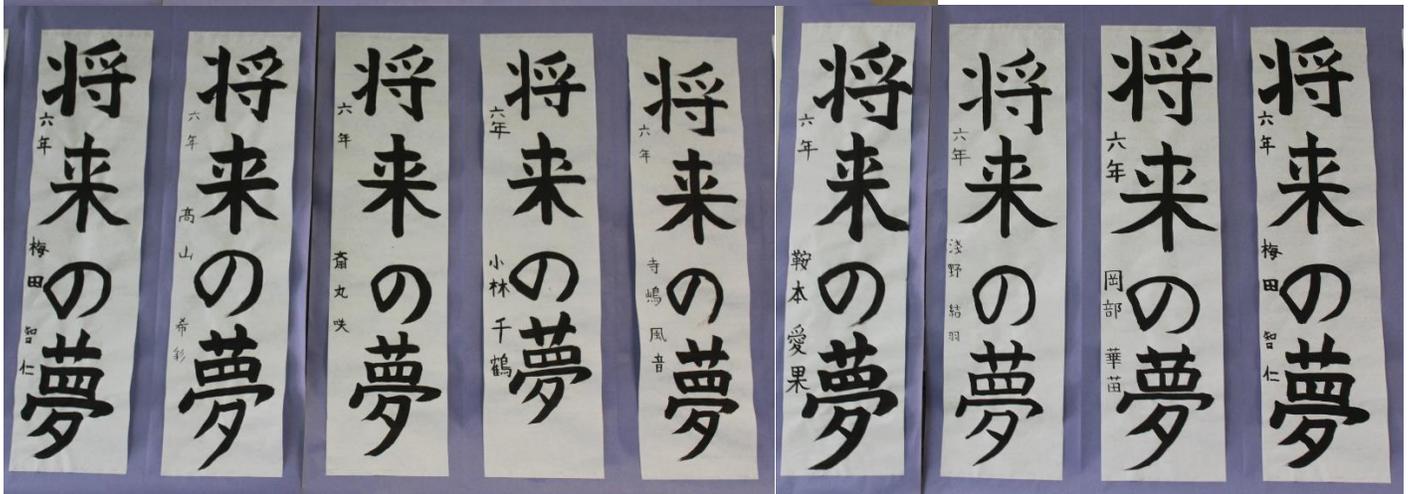
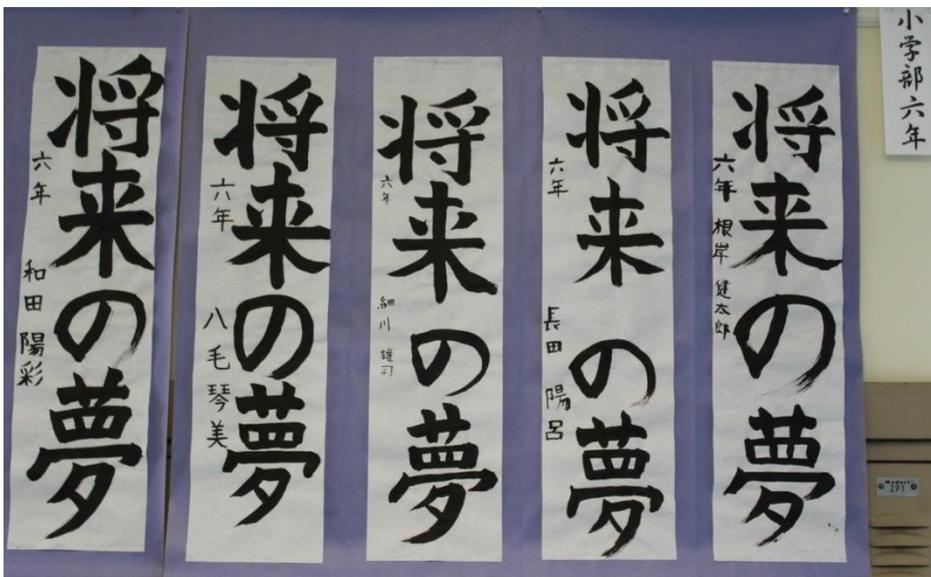
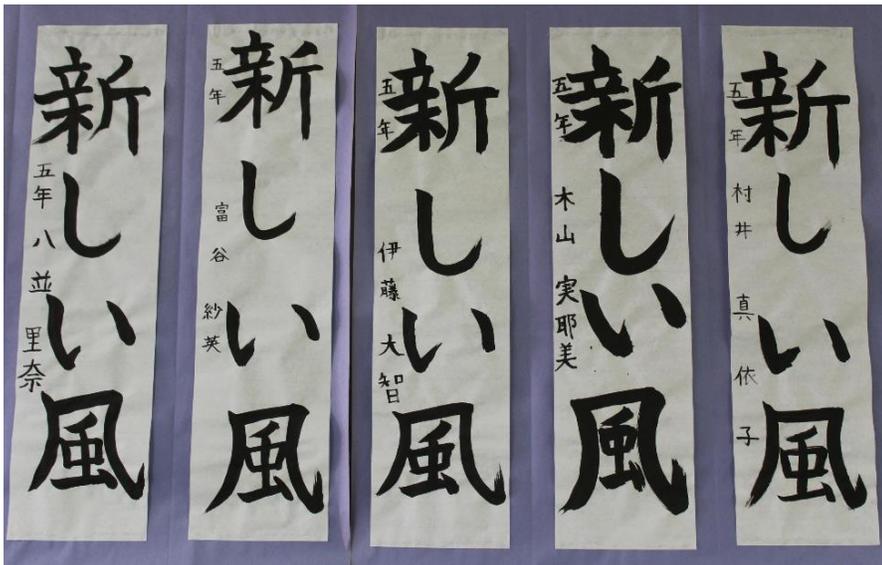
五年
青山
花琳

新
しい
風

五年
高倉
和貴

新
しい
風

五年
森
心花





中学部 1年
2学期美術作品
「飛び出す3Dアート」



中1 藤原 大輝



中1 伊藤 悠希



中1 伊藤 悠希



中1 大野 悠真



中1 藤原 大輝



中1 藤原 悠希



中1 山本 悠希



中1 藤原 悠希



中学部 3年
2学期美術作品
「木製筆箱」



中3 中嶋 悠希



中3 中嶋 悠希



中3 長塚 悠真

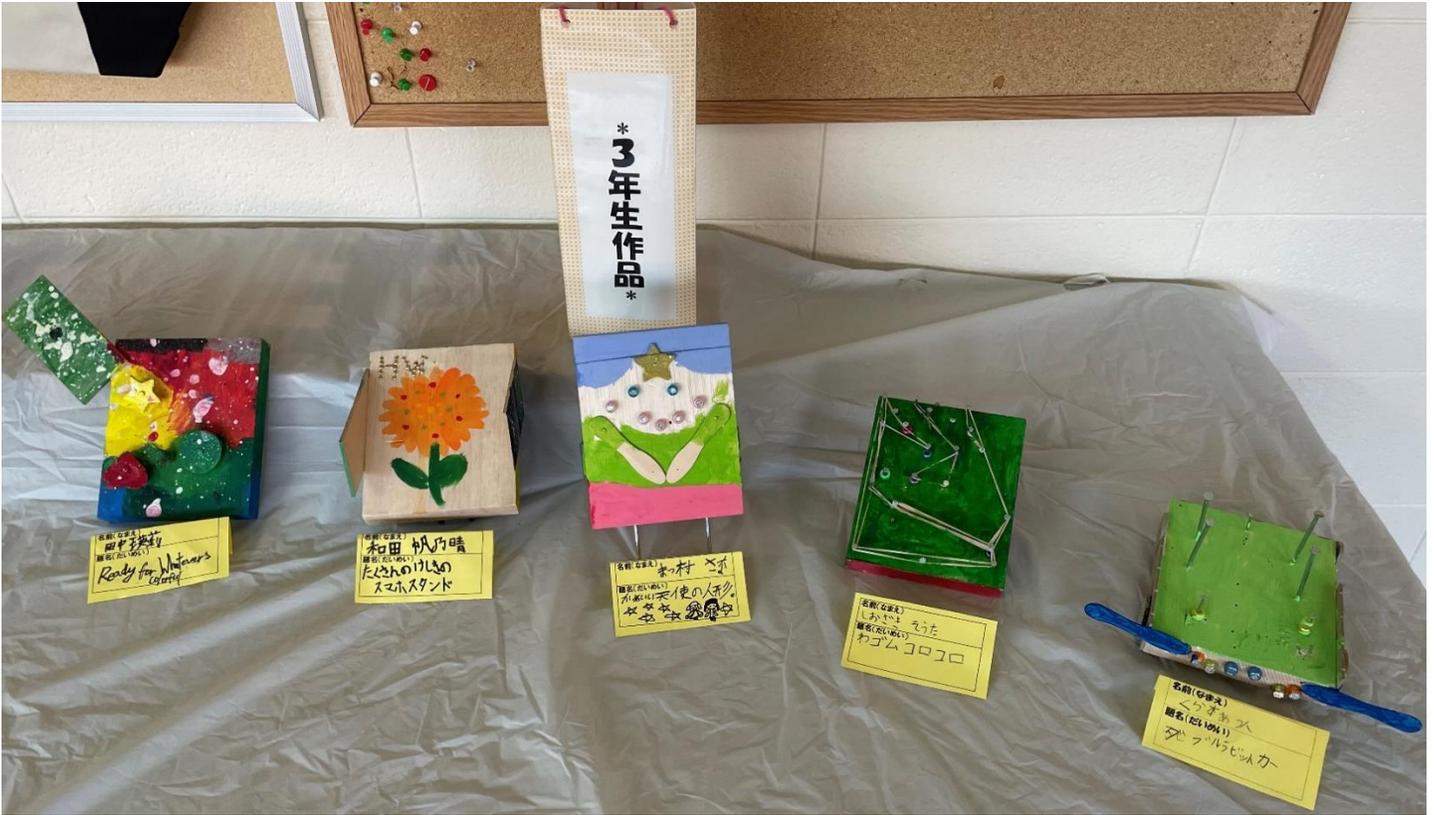


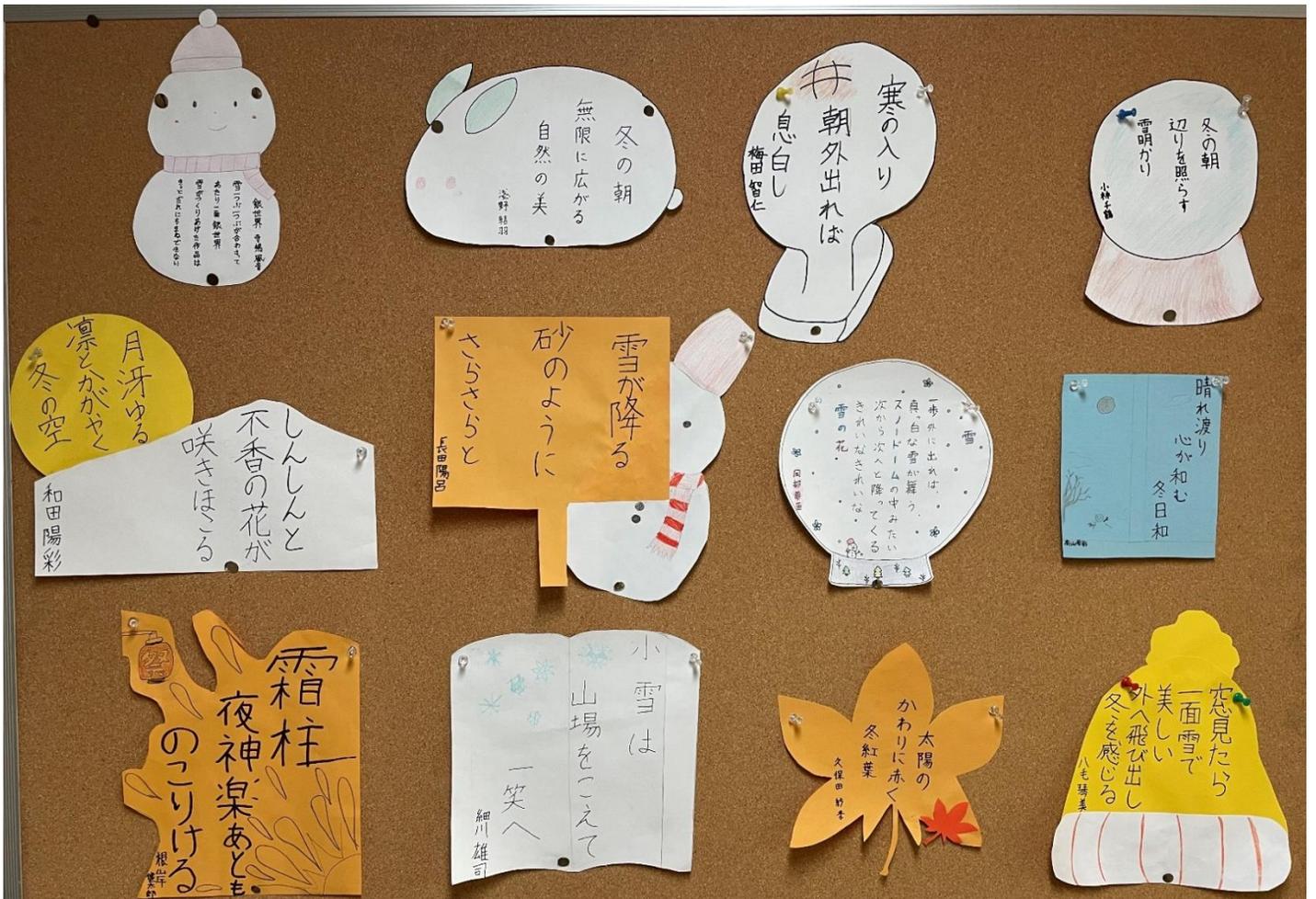
中3 紙尾 悠希



中3 藤島 悠太郎

3年生 「くぎ打ち トントン」





※早いもので、1月が終わります。真っ白に積もった雪が解け、日差しも少しずつ強くなっています。3月の卒業まで、残り30日ほどになりました。子どもたちは、来年度に向けて気持ちを整理し、学習をまとめています。